



## 〇〇 はじめに

平成21年11月23日、豊岡市が参加するSmart Wellness City首長研究会において、「スマート・ウエルネスシティ共同宣言」(＜参考1＞P17参照)がなされました。

この共同宣言は、「ウエルネス(=健幸：個々人が健康で生きがいを持ち、安心安全で豊かな生活を営むことができること)」をこれからの「まちづくり政策」の中核に捉え、健康に関心のある層だけが参加するこれまでの政策から脱却し、市民誰もが参加し、生活習慣病予防及び寝たきり予防を可能とするまちづくりを目指すこととしています。

そのために、科学的根拠に基づき市民の健康状態の改善が実証された以下の健康まちづくり政策を、自治体間の連携によって3年を目処に推進していこうとするもので、世界で未だ確立されていない「少子高齢・人口減社会」によって生ずる課題の克服を可能とするまちづくり「Smart Wellness City」の具体策を創造・構築することを目的としています。

＜スマートウエルネスシティの健康まちづくり政策＞

- 1) 健康に対する望ましい生活を啓発する教育の充実
- 2) 健康への貢献も視点に入れたまちの美的景観、歩道や自転車道、公園整備の推進
- 3) 健康への貢献も視点に入れた都市交通網及び商店街の整備
- 4) 夜でも歩ける治安の維持・強化
- 5) 健康づくりの視点からも地産地消ができる農業等の推進
- 6) 地域での健康づくりネットワークを支援する先端的健康サービス産業の育成

豊岡市では、この趣旨に賛同する他の全国19市(平成23年10月末現在)とも連携を図り、合わせて豊岡らしさを踏まえつつ、生活の中で歩いて暮らすことに象徴される健康の視点を取り入れたまちづくりを「豊岡市歩いて暮らすまちづくり構想」と称し、健康部門だけでなく、情報、市民生活、都市整備、環境、教育、産業、観光などの各部門が連携して、一体的な施策として実施するものです。

Smart(賢明、快適、エコ、美しい) Wellness(健幸、安心) City(まちづくり)

